

## 奈良先端科学技術大学院大学「男女共同参画に関する活動状況」

奈良先端科学技術大学院大学は、情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学とその融合領域の最先端研究において世界水準の成果を上げ、高度な大学院教育により「イノベーション立国」を担う優れた人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的としている。この目的を果たすためには、多様な人材、特に優れた女性教員・研究者の養成と活躍が重要であり、そのためのワークライフバランス(WLB)のよい教育研究環境の整備、システム改革などの推進が必要である。本学では平成 21 年度に文部科学省「女性研究者支援モデル育成事業」の採択を受け、男女共同参画室を設置し、『先端科学技術型 WLB』の実現、整備を行ってきた。平成 24 年度以降は大学独自の事業としてこれを引き継ぎ、本学教職員の WLB の実現に向けた取り組みを進めている。

### ◆主な取組内容

**全学的な男女共同参画推進:** ◇女性教員採用比率の上昇 ◇採用された女性教員に女性研究者スタートアップ研究費を学内経費により支給し、スムーズな研究の立ち上がりを支援することで、将来の研究成果につなげている。また公募時にこれを明示することで、女性研究者の応募へのインセンティブとしている。◇在宅勤務制度について具体的な手続きを定め、在宅で研究等に携わることのできるユビキタス研究教育用ネットワークを用意している。◇妊娠中の研究者が放射線・化学薬品を使用する実験指導等を遠隔で行う遠隔実験支援システムを導入している。

**研究者支援／両立支援:** ◇妊娠・出産・育児期の研究者に対し、アカデミックアシスタント(研究技術員)を配置することにより、絶対的な時間不足を解消し、研究と育児等との両立及び研究成果の向上を目的としている。平成 25 年度は対象者を男性研究者にまで拡大した。◇プラスα保育として、休日・夜間・病気回復時など、既存の保育サービスではカバーできない部分を支援。一時託児室「託児室せんたん」を開室し、学内において、外部や個人的な保育サービスを受けられる場所・情報を提供している。また、出張時における子どもの同伴または自宅等での保育支援を実施している。さらには、オープンキャンパスなど大学・部局主催イベント時に一時託児を実施している。

**意識啓発・情報支援:** ◇教職員・学生を対象とした WLB 相談窓口を男女共同参画室内に設置。研究とライフイベントの両立等に関する相談を受け付け、必要に応じて学内各部署、教員によるメンターと共に対応している。◇けいはんな女性研究者ネットワークを構築し、地区内の女性研究者が所属する企業・機関の過半数から参加を得ている。参加する女性研究者はけいはんな地区外からも得られており、交流会・SNS 等により WLB に役立つ情報交換を行っている。◇シンポジウム・セミナー・女性学生向け相談会の開催、ホームページ開設、ニュースレターやロールモデル集などの各種出版物を通じて、男女共同参画意識の啓発と女性研究者・学生に対する情報支援を行っている。

---

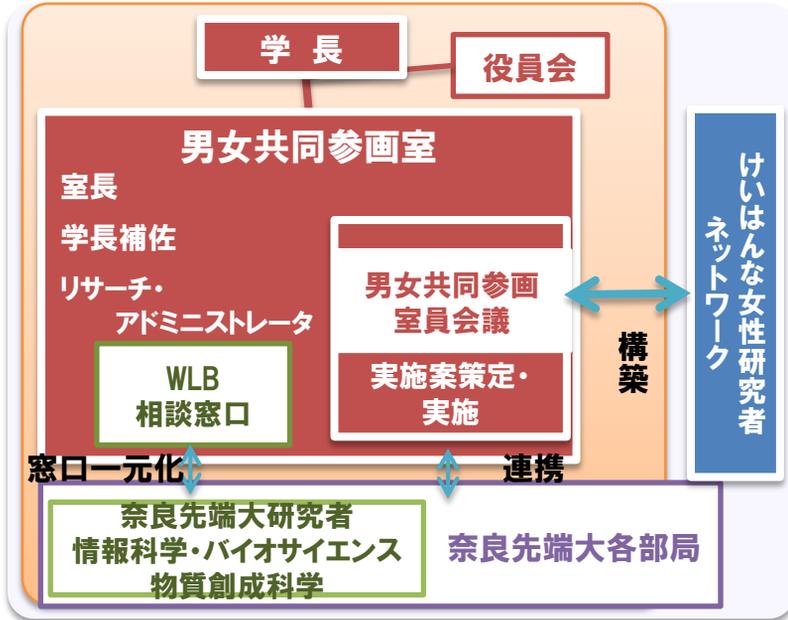
【連絡先】奈良先端科学技術大学院大学 男女共同参画室

TEL: 0743-72-5138 FAX: 0743-72-5139 E-mail: sankaku-jimu@ad.naist.jp

URL: <http://www.naist.jp/gender/index.html>

# 奈良先端科学技術大学院大学の 男女共同参画に関する取り組み

## ●実施体制



## ●取り組み内容

- 1) 全学的な男女共同参画支援
  - ・女性研究者採用支援システム
  - ・遠隔実験支援システム
- 2) 研究者支援
  - ・アカデミックアシスタント(研究技術員)の配置
  - ・プラスα保育
    - 一時託児室「託児室せんたん」の設置
    - 学内一時託児
    - イベント託児
    - 出張時保育支援
    - ベビーシッター育児支援事業
- 3) 意識啓発・情報支援
  - ・けいはんな女性研究者ネットワーク
  - ・WLB相談窓口/メンター制度
  - ・シンポジウム、セミナー等の開催
  - ・HP、ニュースレター等での情報提供

## ●主な取り組み

### 全学的な男女共同参画支援

●女性研究者採用支援システム  
優秀な女性教員の採用促進を図るため、公募により新規採用された女性教員の研究立ち上げに対して150万円の研究助成を実施。

### ●遠隔実験支援システム

妊娠中の研究者が放射線・化学薬品を使用する実験指導等を遠隔で行う遠隔実験支援システムを導入している。また、在宅で研究等に携わることのできるユビキタス研究教育用ネットワーク環境を用意。



### 研究者支援

●アカデミックアシスタントの配置  
妊娠・出産・育児中の研究者に対しアカデミックアシスタント(研究技術員)を配置することにより、絶対的な時間不足を解消し、最先端研究と育児等との両立及び研究成果の向上を目的とする。

### ●プラスα保育

学内に一時託児室「託児室せんたん」を設置し、本学教職員への一時託児サービス、イベント託児サービスを実施。また、ベビーシッター料金を一部補助するベビーシッター育児支援事業や、研究者対象には出張時保育支援を実施している。



### 意識啓発・情報支援

### ●けいはんな女性研究者ネットワーク

けいはんな学研都市の研究機関や企業に分散している女性研究者同士の交流の機会を提供し、ワークライフバランスのために役立つネットワークを目指す。

- ・茶話会の実施
- ・相互の企業訪問
- ・女子中高生との交流会に参加

●WLB相談窓口/メンター制度  
育児と研究の両立といったワークライフバランスに関する相談窓口を設置。必要に応じてメンター制度を利用できる。

### ●シンポジウム等開催

ワークライフバランス、研究キャリアのエンカレッジ等をテーマとしたシンポジウムを開催。

### ●ニュースレター等の発行